

学 校 名	山形市立第七小学校 山形市城北町二丁目9番37号 TEL 023-644-3434 FAX 023-645-8586	校 長	原田 健男
		研究主任	田中 敏子
研 究 主 題	<p style="text-align: center;"><b>仲間とともに、自ら学び拓く子どもの育成</b>  <b>－授業改善につなぐカリキュラム・マネジメントを通して－（6年次）</b></p>		
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>◆主題設定の理由  変化の激しい時代を生きぬく子ども達は、高い志や意欲を持った自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り拓く力（課題解決力）を身に付けることが求められている。また、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を育むためには、「何を学ぶか」という知識の質や量の吟味に加え、「どのように学ぶか」という学びの質を高める指導法を探ることも重要になっている。</p> <p>このような社会的背景の変化のもと、本校では、子どもの姿から付けたい力を重点化し、指導の目標を策定した。「主体的に取り組み生活をよりよくする」「思いや考えを伝え合い 互いを認め合う」の二つである。この二つの重点目標に向かい、全ての教育活動において職員が共有した取り組みを行うこと、日々の授業を目標達成のために改善すること、さらに、長期的な見通しを持って授業に臨むためのカリキュラム・マネジメントのよさを活かすことを中心に据えた研究に取り組むこととした。</p> <p>◆主題・副主題について  主題に掲げた「学び拓く」を、わたしたちは</p> <p>① 学習過程で難しいことや困ったことがあったときでもあきらめずに解決方法を考えようとする事  ② 学んできたことを活かしながら、自分達の生活をよりよくしようとする事</p> <p>と捉える。「学び拓く子ども」をめざすとき、物理的にも精神的にも「一人ではない」ことが重要である。「仲間とともに」困ったときは支え合い、やりきったときには共に喜ぶことが、子どもたちの学びの意欲、学び拓く勇気につながっていく。子ども同士の関わりを重視し、このような学び拓く子どもの姿を求めて、探究型学習を基盤にした授業改善に取り組んでいく。</p> <p>また、学校全体、学年全体でカリキュラム・マネジメントを実現することで、学校教育目標とそれに基づき育成すべき資質・能力の設定、それらを踏まえた教科横断的な視点での教育課程の編成を行うことができる。年間を見通した長いスパンで活動を考え、日々の授業を組むことが可能になり、それがひいては授業改善につながっていくものと捉えている。</p>		
研 究 の 目 標	<p>◎重点目標◎</p> <p>1. 主体的に取り組み 生活をよりよくしようとする子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題を見つけて課題を設定し、進んで解決するために取り組む。</li> <li>○ ねばり強く、仲間とともにやりぬく。</li> </ul> <p>2. 思いや考えを伝え合い 互いのよさを認め合う子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手意識をもって聞く。</li> <li>○ 理由や根拠をわかりやすく伝える。</li> <li>○ 友だちのよさや苦手なことも認め合い、助け合う。</li> </ul> <p>二つの重点目標を具現化するため、子どもの実態をよく見取り、実態に即した意図的、計画的な指導や支援を、教育課程全体を通して行っていく。具体的には、各学年、学級で育みたい資質・能力を明らかにしたカリキュラムを作成したうえで、日々の子どもの変容をカリキュラムに反映させながら評価・改善し、より効果的な指導や支援を行うことをめざしていく。目標達成のために、日々の授業を探究型学習の学びのプロセスに沿って行うものとする。</p>		

## 1. 学校経営とカリキュラム・マネジメント

### (1) 学校目標と学校全体で重点化していく資質・能力

新学習指導要領が求める資質・能力については、「新しい時代に必要とされる3つの柱」として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」等、各教科等で身につけるものの他にも、学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応した資質・能力等が示されている。

これらのことから、学校全体で重点化していく目標はどの学習でも共通に必要な「汎用的な能力」が適していると考えられる。また、育てたい資質・能力は、実際の授業での「めざす子どもの姿」を見極め、具体的に設定していくことも重要である。

学習指導要領（H29改定）、GIGA スクール構想等から、これからの学校でめざすべき授業は「ICTを活用した、協働的、探究的な学び」であると考えられる。

これらのことから、本校でめざす資質・能力を

- ① 問題発見、解決能力
- ② 言語能力
- ③ 情報活用能力
- ④ 協調性

とし、学校重点目標「主体的に取り組み、生活をよりよくしようとする、思いや考えを伝え合い、互いのよさを認め合う」の中に育みたい資質・能力を明示した。

### (2) 学校目標の具現化をめざす「学校経営グランドデザイン」

本校の教育活動を学校重点目標達成に向けた視点で整理して明記するものである。この研究を始めて二年次から学校長が作成している。このグランドデザインをもとに、PDCA サイクルを行い、学校教育目標の見直し、教育課程の編成、学校評価との関連付けを図る。

## 2. 学年・学級カリキュラム・マネジメント表の作成

昨年度までの研究から、カリキュラム・マネジメント表を作成することでめざす子どもの資質・能力や年間教育活動が可視化されること、教科横断的な学習が展開しやすいこと等、その有効性を実感できた。第七小学校としてのカリキュラム・マネジメントの型や活用の仕方も職員間で周知し、確立したものとなってきた。しかし、年度や職員が変わった今年度も継続して改善を図りながら大切な要件、学級経営案及びカリキュラムとしての性格を持ち合わせつつ、「持続可能」なものにしていくことが重要である。

カリキュラム・マネジメント表については、下記のことを原則に進めていく。

- ①学級カリキュラム・マネジメント表を一つにし、定期（前期・後期）に加え、授業研究会後の事後研で見直し、改訂を行う。（学年カリマネ表、短期カリマネ表の作成は行わない。）
- ②資質・能力を育む「PDCA」が見える「学級カリキュラム・マネジメント表」を作成する。これを教育活動計画書（学級経営案）とする。

## 3. 資質・能力を育む単元構成と授業

### (1) 単元構成と授業づくりの基本的な考え方

- ① カリキュラム・マネジメント表は教科横断的なカリキュラムをデザインすることだけが目標ではない。育成する「資質・能力」にかかわる「PDCA」であるPlan（計画）、Do（実践）、See（評価）、Action（改善）がよく見えるようにし、意図的・計画的・継続的な実践で目標を達成していくことを大切にする。
- ② 子ども達につけたい資質・能力は日々の授業の積み重ねで育まれる。良い授業とは、毎日容易に作れる、おいしく食べられる、栄養もある「おばあちゃんが作る朝ご飯」のようなものである。時折ある、ディナーのような食事も時には必要だが、日々の授業全てが子どもを育てると考えている。
- ③ 単元構成を大切にする。単元全体を通して探究型の構成にする。1時間の授業も探究型をめざしていく。

### (2) 重点教科に据えた教科等の授業づくりのポイント

「学級カリキュラム・マネジメント表(学級経営案)」に位置づけられた教科、道徳、総合的な学習の時間を中心に、本校で目指す資質・能力を育成する。

授業づくりのポイントとして、どの教科においても、学校全体でめざす資質・能力（①問題発見、解決能力 ②言語能力 ③情報活用能力 ④協調性）を育むこととする。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の方法</p>	<p><b>1 校内研修会の実施</b>  ※山形大学の中井義時名誉教授より、以下の内容についてご指導いただく。(昨年度より継続)</p> <p>(1) 各学年、学級ごとのカリキュラム・マネジメント表を作成する。  (2) 子どもの実態や授業の様子について話し合い、指導や支援、カリキュラムの修正、改善について学ぶ。</p> <p><b>2 授業研究会の実施</b></p> <p>(1) 大 研・・・全員が参観、指導の先生を招聘し事後研究会を実施する。  (2) 中 研・・・学年部が参観、指導の先生を招聘し事後研究会を実施する。</p> <p>(3) 事前研究会：大研は学年部と教科部教員で行い、中研は学年と教科部教員で行う。  (4) 事後研究会：資質・能力を育む探究的な学習にするための授業づくりの視点について話し合い、全体でまとめ、指導をうける。自身のカリマネの改訂を行う。</p> <p><b>3 学び方の共有</b></p> <p>(1) 各学年のカリキュラム・マネジメント表、授業研究会（大研・中研）のまとめをデータとして蓄積し、次年度の研究につなげる。  (2) 普段の授業を積極的に開き、互いに学び合う。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">研究の計画</p>	<p>4月14日 校内研修会  4月26日 研究全体会  5月17日 研究全体会  6月21日 授業研究会①  7月12日 授業研究会②  7月25日 研究全体会  10月27日 授業研究会③  11月29日 授業研究会④  12月 6日 授業研究会⑤  12月20日 研究全体会  2月 5日 研究全体会</p>